

2026年度版

ノートパソコン初期設定①

手順書



広島経済大学は、情報やメディアに関するリテラシーと論理的な思考力及び問題解決力を身につけ、ビジネスのプロセスを進めていく上で ICT を効果的に活用できるような人材の育成に一層強化して取り組んでいくこと、また同時に教員が提示する教材や配布物、並びにレポートを中心とする提出物のペーパーレス化の推進などを目的として、ノートパソコンの必携化を実施しています。

ノートパソコンの必携化にあたっては、自身でノートパソコンをご準備いただき、大学で利用できるよう初期設定を行っていただく必要があります。初期設定には「初期設定①」と「初期設定②」があり、それぞれで以下の設定を行います。なお、この手順書は初期設定①を行うためのものです。

【初期設定①】：ノートパソコンを使用するための初期設定

初期設定①では、ノートパソコンを必携パソコンとして使用するための初期設定を行います。

ここでは、主に Windows11 の初期設定を行います。この作業はご自宅で行うことが可能ですので、入学前に済ませておいてください。設定完了後は、入学までの期間、パソコンを自由にご利用いただいても構いません。

なお、ご準備いただいた、ノートパソコンの Windows のバージョンや、現在の使用状況によって、行う手順が異なります。次ページの「お手持ちのパソコンの確認と設定手順」に従って、ご自身の環境を確認しながら作業を進めてください。

作業に必要なもの



ノートパソコン



ノートパソコン初期設定①手順書
(この資料)



インターネット環境

【初期設定②】：ノートパソコンを大学の環境で使用するための設定(4/1 以降に案内します)

初期設定②では、ノートパソコンを大学で使用するために、大学の環境に合わせた設定を行います。Microsoft Office などのアプリケーションのインストールや、Wi-Fi の設定、プリンタの設定等を行います。

この作業は入学後に行いますので、設定手順は 4/1 からホームページで案内します。

作業に必要なもの



ノートパソコン



ノートパソコン初期設定②手順書
(4/1 からホームページに掲載します)



大学アカウント通知書
インターネット環境
(入学式の際に配布します)

(注意事項)

- ・初期設定①を行う際にはインターネット接続が必要です。ご自宅や下宿先にインターネット接続の環境がない場合には、入学後に初期設定①と初期設定②を併せて行ってください。
- ・既にご利用中のノートパソコンを必携パソコンとして使用する場合には、初期設定の作業により、パソコン内のデータが完全に削除されますので、必要なデータ等がある場合には、作業前に必ずバックアップを行ってください。

お手持ちのパソコンの確認と設定手順

準備いただいたノートパソコンの区分によって、必要な設定手順が異なります。以下のどのケースに該当するのかわを確認して、次ページの【設定フロー】に従って設定作業を始めてください。

① 大学推奨 PC を購入した場合

➡ 「(A1)Windows11 初回起動時の設定 P.4」へ進んでください。

② 大学推奨以外の PC を利用する場合

②-1 OSが Windows11

- ➡ PC を未使用の場合 : 「(A1)Windows11 初回起動時の設定 P.4」へ進んでください。
- ➡ PC を既に使用中の場合 : 「(B2)Windows11 の初期化 (リセット) P.25」へ進んでください。

②-2 OSが Window10

- ➡ 「(B1)Windows11 へのバージョンアップ P.20」へ進んでください。

(*)未使用 PC の場合には、PC に付属のマニュアルを用いて初期設定を完了後、「(B1)Windows11 へのバージョンアップ P.20」へ進んでください。

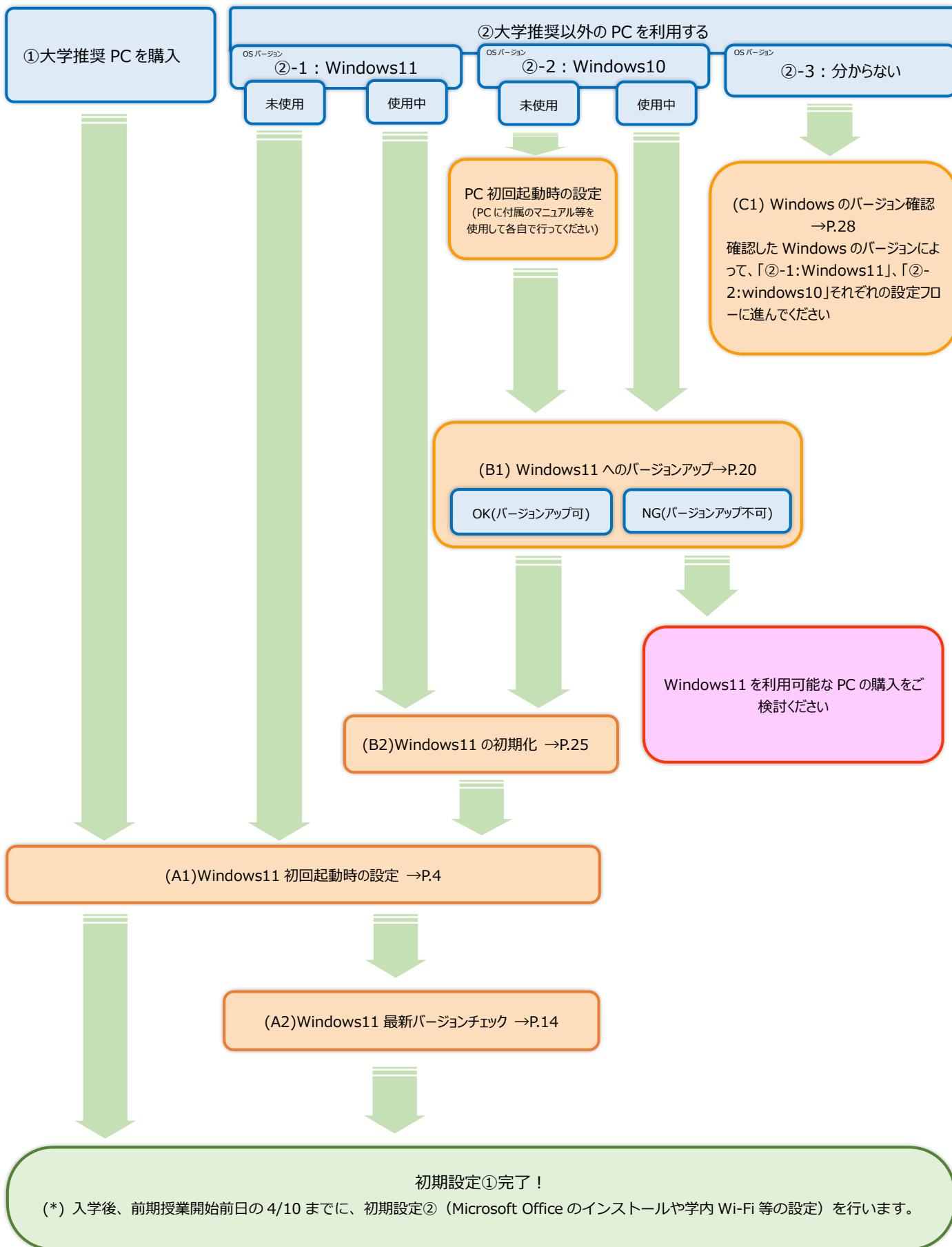
②-3 OS のバージョンが分からない

- ➡ 「(C1)Windows のバージョン確認 P.28」へ進んでください。

(*)未使用 PC の場合には、PC に付属のマニュアルを用いて初期設定を完了後、「(C1)Windows のバージョン確認 P.28」へ進んでください。

バージョンが確認出来たら[②-1]または[②-2]へ進んでください。

【設定フロー】



(*) 入学後、前期授業開始前日の 4/10 までに、初期設定② (Microsoft Office のインストールや学内 Wi-Fi 等の設定) を行います。

(A1) Windows11 初回起動時の設定

Windows 11 パソコンを新しく購入した時、または初期化して最初に電源を入れて立ち上げた時には、デスクトップ画面が表示される前に、初期設定が始まります。

以下の手順に従って、初期設定を完了させてください。

(A2-1)

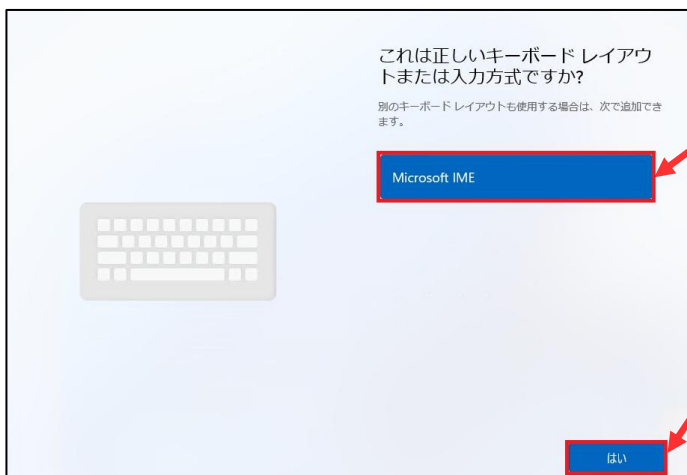


① [日本] を選択します。

② [[はい] をクリックします。

作業中に音声が聞こえたら（PC が喋りだしたら）、右下のスピーカーのボタンで音量を調整することができます。

(A2-2)



① [Microsoft IME] が表示されていることを確認します。

② [[はい] をクリックします。

(A2-3)



[スキップ] をクリックします。

(A2-4)



Wi-Fi または有線接続で、インターネットに接続に
します。
インターネットが利用可能になれば [次へ] をクリ
ックすることが可能になります。



ネットワークへの接続が完了すると、更新が始
まり、コンピュータの再起動が始まることありま
す。

(A2-5)



[同意] をクリックします。
この画面は表示されない場合があります。

(A2-6)



[今はスキップ] をクリックします。

この後、更新が始まる場合があります。

(A2-7)



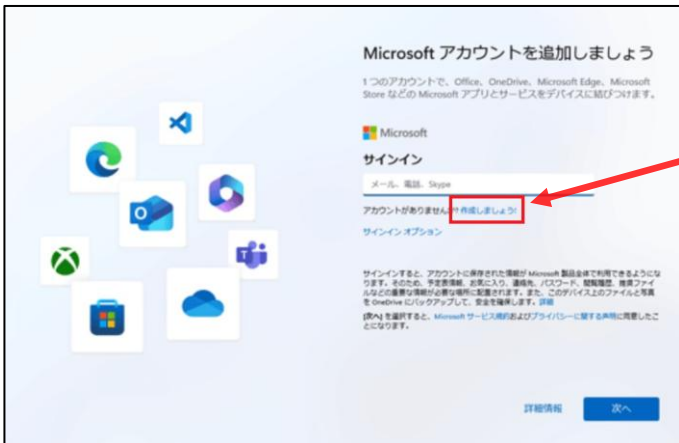
更新が始まった場合、手順が 1/3 から 3/3 まで進みます。PC の電源を切らないで、更新が終了するまでしばらくお待ちください。

(A2-8)



[サインイン] をクリックします。

(A2-9)



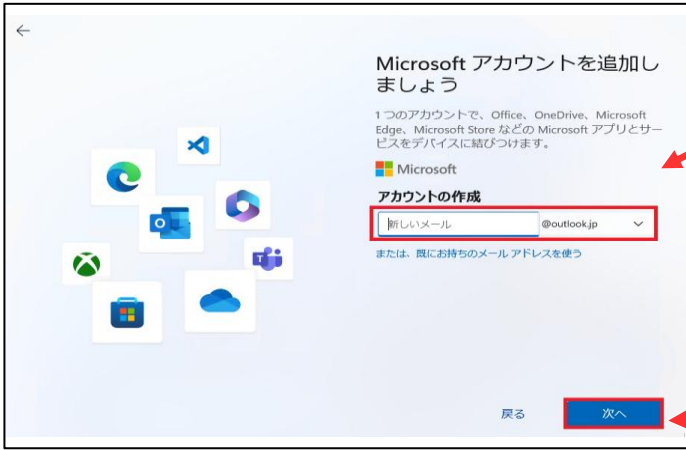
[作成しましょう！] をクリックします。
既に所有している Microsoft アカウントを使用することも可能ですが、ここでは、新たに Microsoft アカウントを作成することをお勧めします。

(A2-10)



[新しいメールアドレスを取得] をクリックします。
ここでは、新規にメールアドレスを取得することをお勧めします。既に所有しているメールアドレスを使用することも可能ですが、携帯電話の契約変更等によりメールアドレスが使用できなくなったときに問題が発生することがあります。

(A2-11)

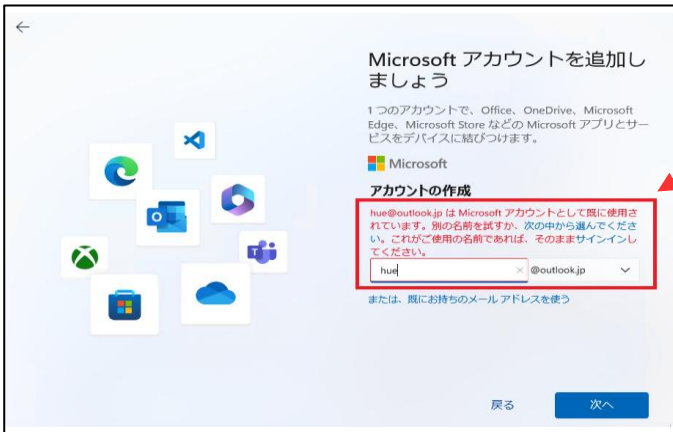


① 任意のメールアドレスを入力し、Microsoft アカウントを作成します。

✎ ここで作成した Microsoft アカウントはノートパソコンのサインイン時や障害発生時にマイクロソフト社との連絡に使用します。絶対に忘れないよう注意してください。(メモをしておきましょう。但し、他人に見られないように注意してください。)

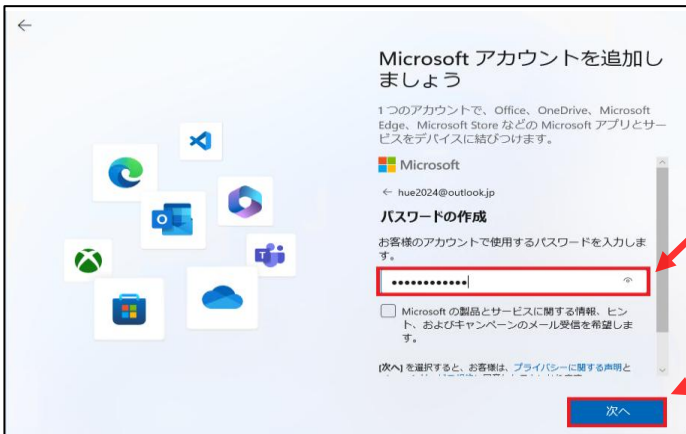
② [次へ] をクリックします。

(A2-12)



✎ 入力したメールアドレスが既に Microsoft アカウントとして使用されていることがあります。このメッセージが表示されたら、別のメールアドレスを入力し、Microsoft アカウントを作成してください。

(A2-13)

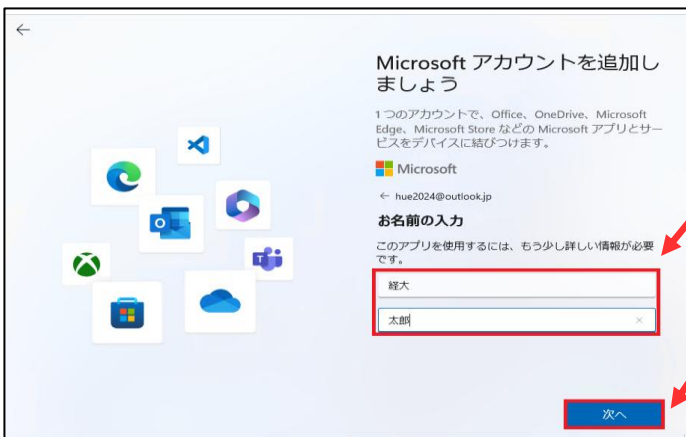


① パスワードを入力します。

✎ ここで入力したパスワードは、ノートパソコンのサインイン時に使用します。忘れないように注意してください。(メモをしておきましょう。但し、他人に見られないように注意してください)

② [次へ] をクリックします。

(A2-14)



① 名前を入力します。

② [次へ] をクリックします。

(A2-15)

Microsoft アカウントを追加しましょう

1つのアカウントで、Office、OneDrive、Microsoft Edge、Microsoft Store などの Microsoft アプリとサービスをデバイスに結びつけます。

Microsoft

← hue2024@outlook.jp

生年月日の指定

お子様がこのデバイスを使用している場合は、生年月日を選択して、お客様のアカウントを作成します。

国/地域
日本

生年月日
2004 4月 2日

次へ

① 生年月日を入力します。

② [次へ] をクリックします。

(A2-16)

Microsoft アカウントを追加しましょう

1つのアカウントで、Office、OneDrive、Microsoft Edge、Microsoft Store などの Microsoft アプリとサービスをデバイスに結びつけます。

Microsoft

← hue2024@outlook.jp

セキュリティ情報の追加

セキュリティ情報によってアカウントが保護されます。セキュリティ情報は、パスワードの回復、アカウントのハッキング被害の防止、ブロック時のアカウントの復元などに使われます。スパムには使われません。

メールの追加
電話番号の追加

連絡用メールアドレス

次へ

[セキュリティ情報の追加] として [メールアドレス] または [携帯電話番号] を登録します。
どちらを登録しても構いませんが、[携帯電話番号] の登録をお勧めします。

ここで入力した情報は、先に登録した Microsoft アカウントにアクセスするとき必要となります。また、Microsoft アカウントにアクセスできなくなったときの連絡手段となります。
なるべく変更する可能性の少ないものを入力しましょう。

Microsoft アカウントを追加しましょう

1つのアカウントで、Office、OneDrive、Microsoft Edge、Microsoft Store などの Microsoft アプリとサービスをデバイスに結びつけます。

Microsoft

← hue2024@outlook.jp

電話番号の追加

+81 07012345678

次へ

① [携帯電話番号] を登録する場合
携帯電話の番号を入力してください。

電話番号の最初の 0 はつけたままでも構いません。
(070-1234-5678 の場合「07012345678」と入力しても、「7012345678」と入力しても大丈夫です。)

Microsoft アカウントを追加しましょう

1つのアカウントで、Office、OneDrive、Microsoft Edge、Microsoft Store などの Microsoft アプリとサービスをデバイスに結びつけます。

Microsoft

← hue2024@outlook.jp

メールの追加

xxxx@icloud.com

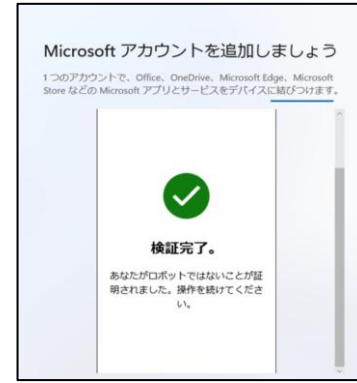
次へ

② [メールアドレス] を登録する場合
既に所有している、変更の可能性が少ないアドレスを登録してください。(先ほど作成したメールアドレスではありません。)

(A2-17)



ロボットではないことを証明するため、パズルやクイズへの回答を求められた場合は、「パズルを解く」や「次」ボタンをクリックします。パズルやクイズの内容はランダムです。手順書とは違うパズルやクイズが表示されますが、表示された指示に従って対応し、「送信」ボタンをクリックします。回答が終わると、「検証完了。」と表示されます。次の画面に切り替わるまで、しばらく待ちます。



(A2-18)



顔認証の機能を持った PC の場合表示されます。[はい、セットアップします] をクリックし、以降の指示に従って設定を行ってください。
顔認証の機能を持たない PC の場合この画面は表示されません。

(A2-19)



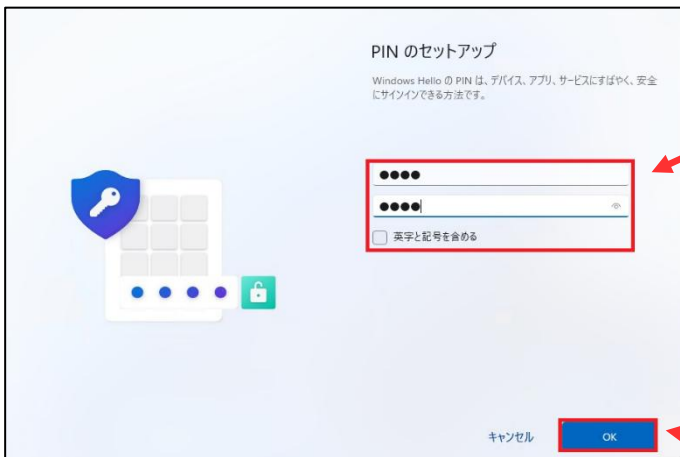
指紋認証の機能を持った PC の場合表示されます。[はい、セットアップします] をクリックし、以降の指示に従って設定を行ってください。
指紋認証の機能を持たない PC の場合この画面は表示されません。

(A2-20)



[PIN の作成] をクリックします。

(A2-21)



① 4 文字以上の数字を入力します。

✎ ここで設定する PIN は、パソコンにサインインする際にパスワードの代わりに使用します。忘れないように注意してください。(メモしておきましょう。但し、他人に見られないように注意してください。)

✎ PIN に英字や記号を含める場合には[英字と記号を含める]に☑を入れます。

② [OK] をクリックします。

(A2-22)



[同意] をクリックします。

✎ ここでの設定内容は、パソコンを使用する上では影響はありません。内容を確認し、設定を [はい] から [いいえ] に変更しても構いません。

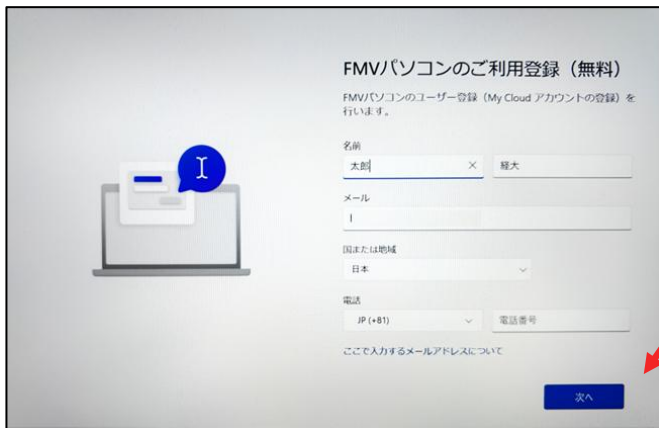
(A2-23)



① [新しいPCとしてセットアップする] をクリック。

② [次へ] をクリックします。

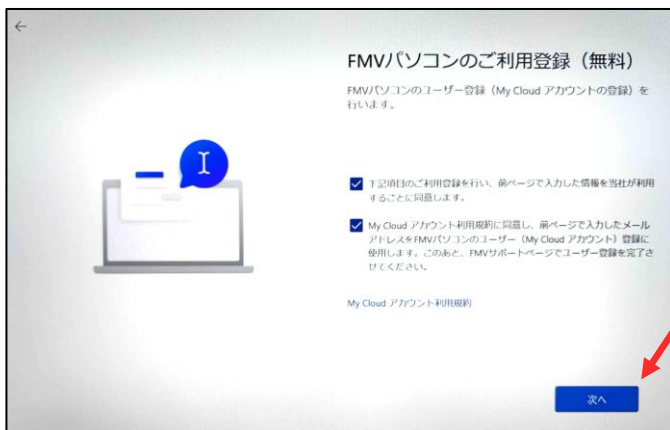
(A2-24)



[次へ] をクリックします。

✎ この画面は、推奨パソコン(2025年モデル富士通製)の画面です。他メーカーのPCでは表示されない(または、同様の別画面が表示される)可能性があります。

(A2-25)



[次へ] をクリックします。

✎ この画面は、推奨パソコン(2025年モデル富士通製)の画面です。他メーカーのPCでは表示されない(または、同様の別画面が表示される)可能性があります。

(A2-26)



[スキップ] をクリックします。

(A2-27)



[スキップ] をクリックします。

(A2-28)



[今はしない] をクリックします。

(A2-29)



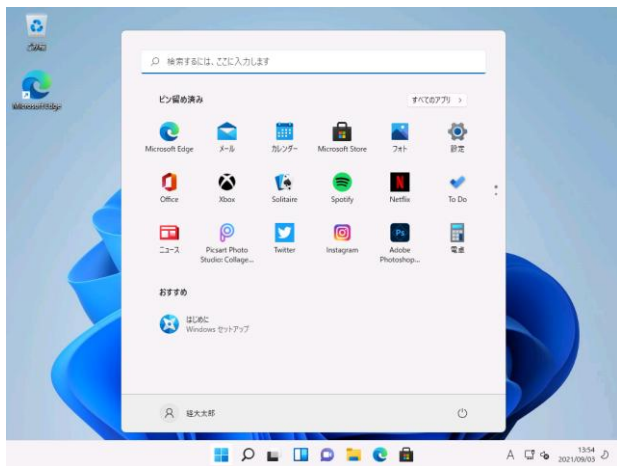
[次へ] をクリックします。

(A2-30)



[スキップ] をクリックします。

(A2-31)



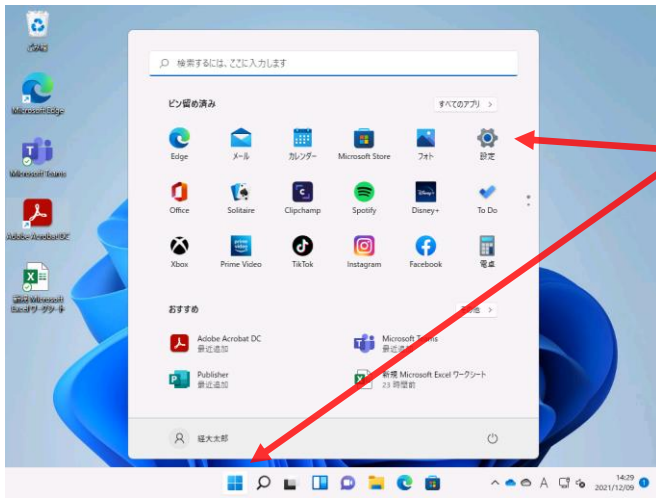
最終設定が完了し、Windows が起動します。

- 「①大学推奨 PC を購入」の場合
 - ➡ 初期設定①の作業は全て完了です。
入学後に初期設定②の作業を行ってください。
- 「②大学推奨以外の PC を利用する」場合
 - ➡ 「(A2)Windows11 最新バージョンチェック P.14」へ進んでください。

(A2) Windows11 最新バージョンチェック

Windows 11 は「22H2」が最新バージョンです。初期設定を行ったパソコンが最新バージョンであることを確認します。最新でない場合は最新バージョンへバージョンアップを行ってください。

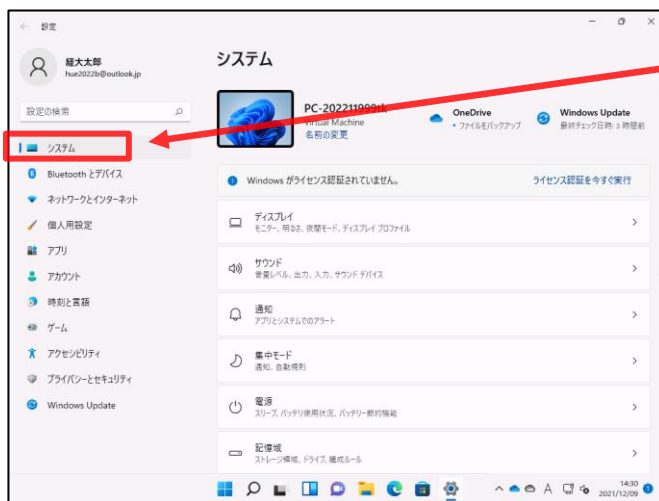
(A2-1)



① [Windows] をクリックします。

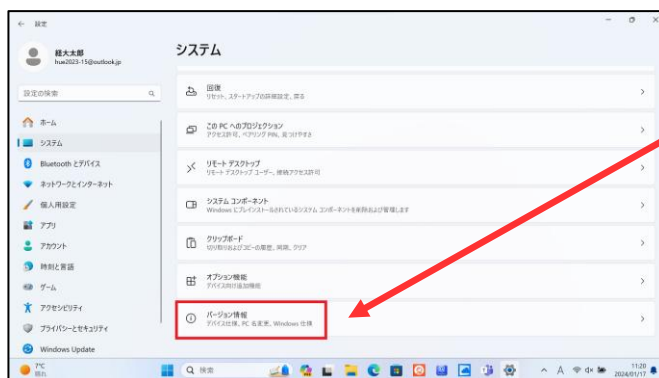
② [設定] をクリックします。

(A2-2)



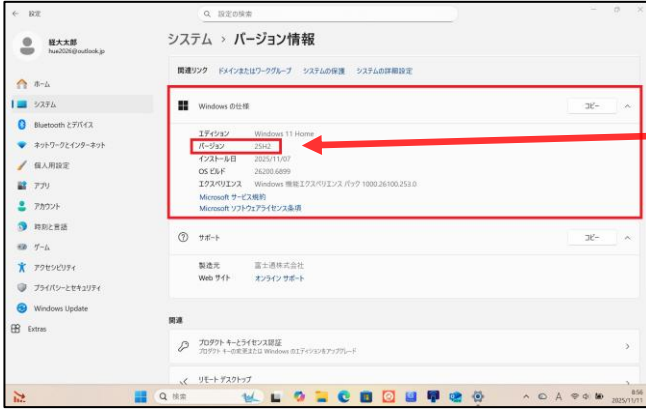
[システム] をクリックします。

(A2-3)



[バージョン情報] をクリックします。

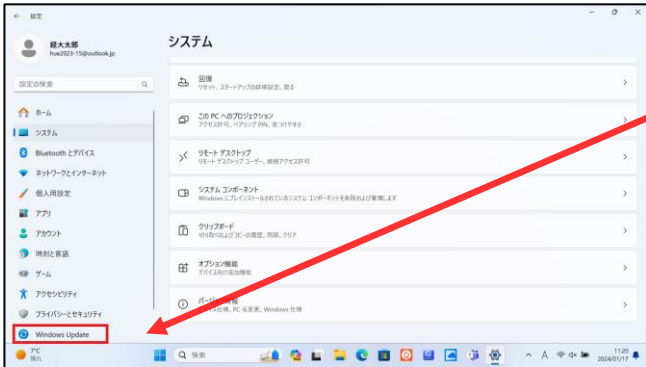
(A2-4)



[Windows の仕様] 内にある [バージョン] を確認します。

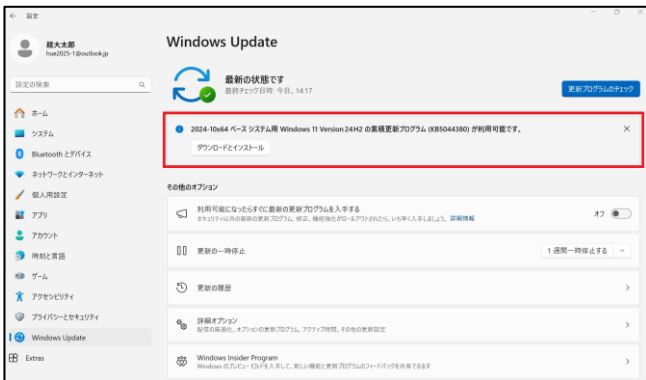
- 「25H2」の場合
 - ➡ 初期設定①の作業は全て完了です。入学後に初期設定②の作業を行ってください。
- 「25H2」以外の場合
 - ➡ 引き続き (A2-5) 以降の作業を行ってください。

(A2-5)



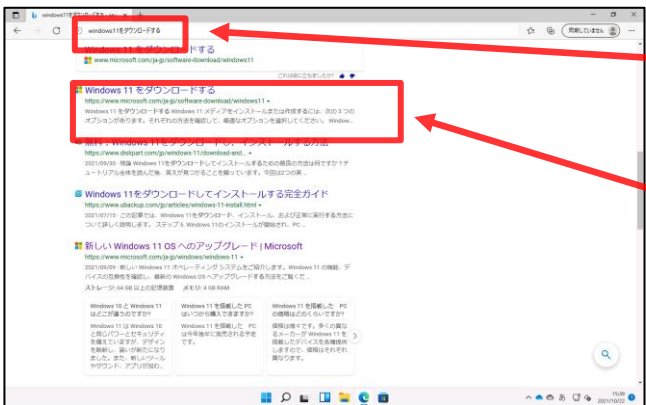
[Windows Update] をクリックします。

(A2-6)



- 「Windows11, version 25H2 が利用可能です」の表示がある場合
 - ➡ [ダウンロードとインストール]を実行します。インストールが完了すれば初期設定①の作業は全て完了です。
- 「Windows11, version 25H2 が利用可能です」の表示がない場合
 - ➡ 引き続き (A2-7) 以降の作業を行ってください。

(A2-7)



① WEB ブラウザ (Edge や Chrome 等) を起動して「Windows11 をダウンロードする」と入力して、キーワード検索を行います。

② 検索結果から Microsoft サイト Windows11 のダウンロードページをクリックします。

下記の URL を直接入力することで、Windows11 のダウンロードページを表示することもできます。

<https://www.microsoft.com/ja-jp/software-download/windows11>

(A2-8)



[今すぐダウンロード] をクリックします。

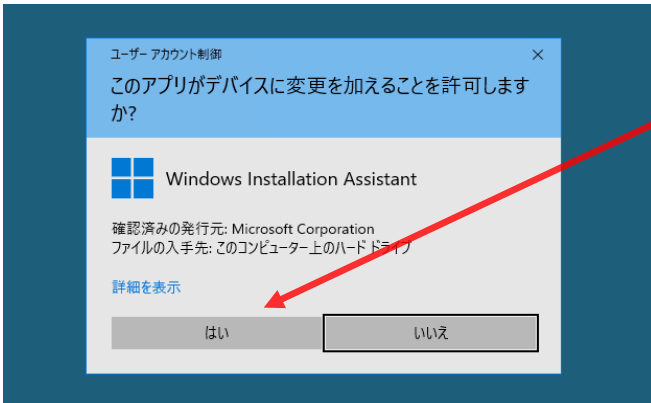
(A2-9)



バージョンアップ用のプログラムがダウンロードされたら、[ファイルを開く] をクリックします。

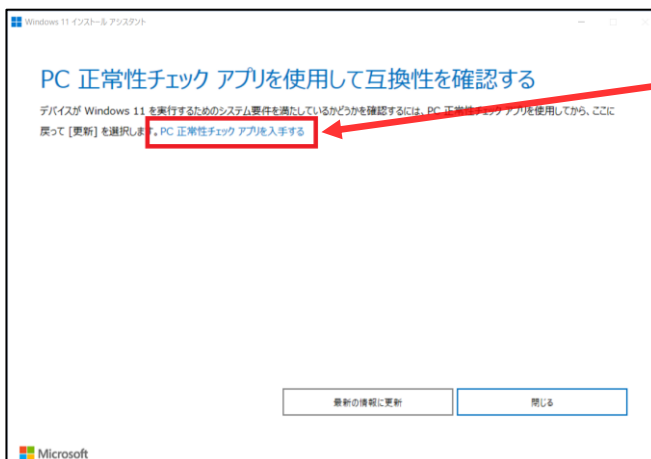
✏️ 使用するブラウザによっては、[実行] [保存] [キャンセル] の選択を求められることがあります。この場合 [実行] を選択してください。

(A2-10)



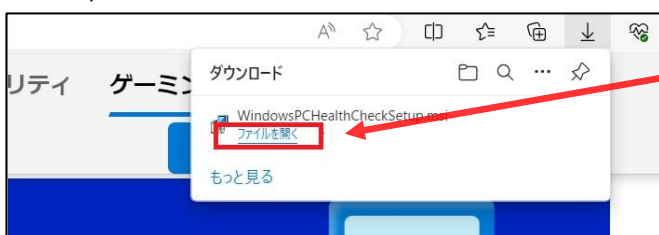
[はい] をクリックします。

(A2-11)



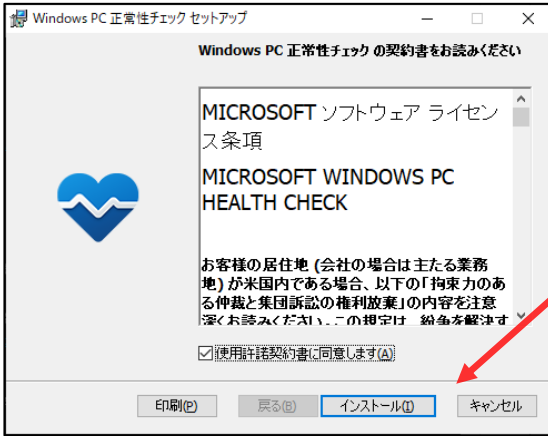
[PC 正常性チェックアプリを入手する] をクリックします。

(A2-12)



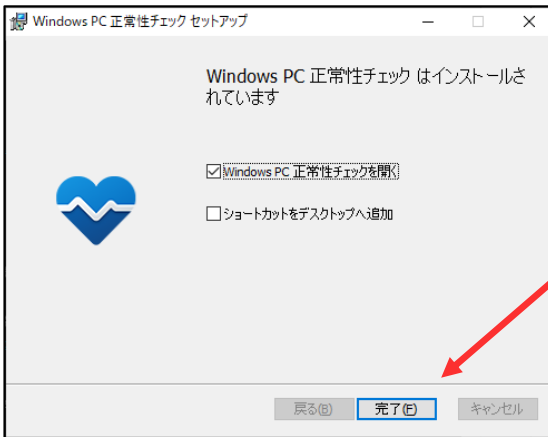
[ファイルを開く] をクリックします。

(A2-13)



[使用許諾契約書に同意します] にチェックを入れ、[インストール] をクリックします。

(A2-14)



[完了] をクリックします。

(A2-15)



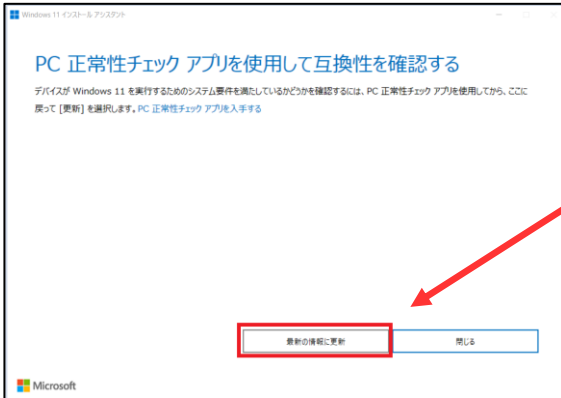
[今すぐチェック] をクリックします。

(A2-16)



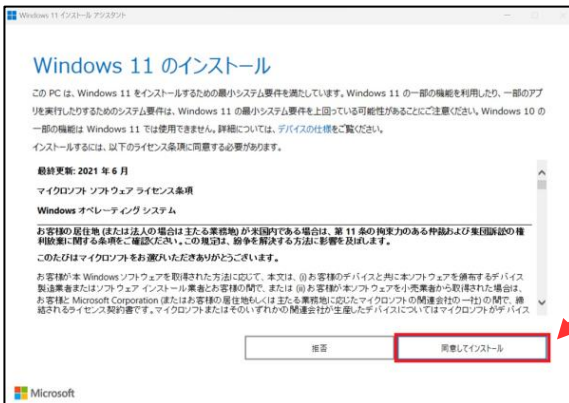
「この PC は Windows11 の要件を満たしています」と表示されるので[x]で終了し、(A2-17)へ進んでください。

(A2-17)



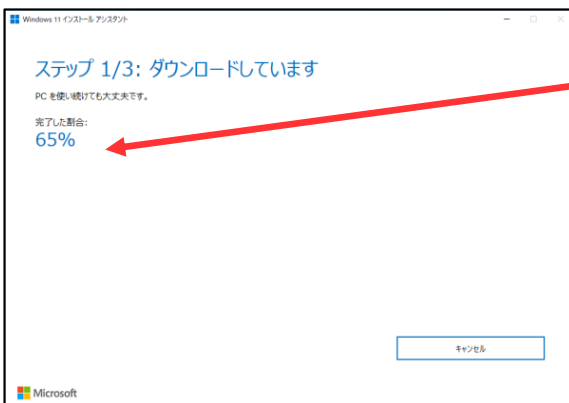
[最新の情報に更新] をクリックします。

(A2-18)



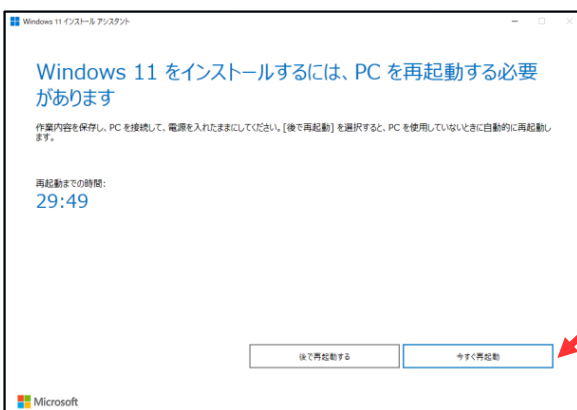
[同意してインストール] をクリックします。

(A2-19)



[完了した割合] が 100%になるまでお待ちください。

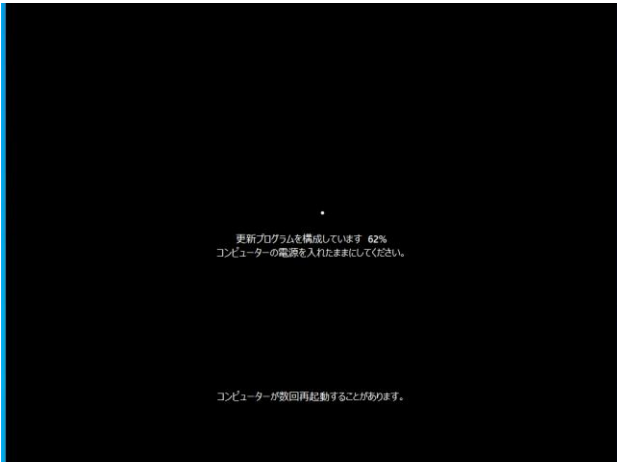
(A2-20)



[今すぐ再起動] をクリックし、パソコンを再起動します。

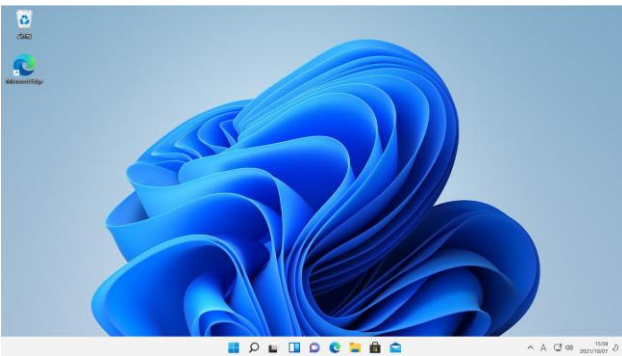
再起動が開始されるまで少し時間がかかります。

(A2-21)



再起動中に、Windowsのバージョンアップが継続されます。しばらくそのままお待ちください。

(A2-22)



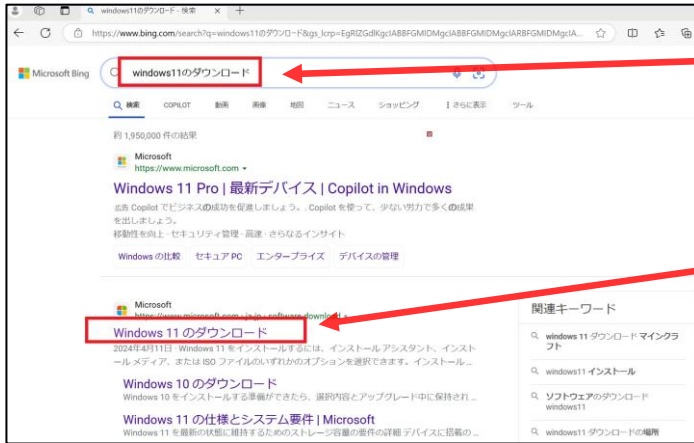
再起動完了後、パソコンにサインインすると、Windows11 最新バージョン（25H2）へのバージョンアップが完了します。

→ 初期設定①の作業は全て完了です。
入学後に初期設定②の作業を行ってください

(B1) Windows11 へのバージョンアップ

Windows のバージョンが [10] の場合には、Windows11 へバージョンアップを行う必要があります。Windows11 が動作する要件を満たしているパソコンであれば、無償で Windows11 へバージョンアップを行うことが可能です。ご利用中の PC が Windows11 へのバージョンアップが可能かチェックを行い、可能な場合は Windows11 へバージョンアップを行ってください。

(B1-1)



① WEBブラウザ (Edge や Chrome 等) を起動して「Windows11 をダウンロード」と入力して、キーワード検索を行います。

② 検索結果から Microsoft サイト Windows11 のダウンロードページをクリックします。

下記の URL を直接入力することで、Windows11 のアップグレードページを表示することもできます。

<https://www.microsoft.com/ja-jp/software-download/windows11>

(B1-2)



[今すぐダウンロード] をクリックします。

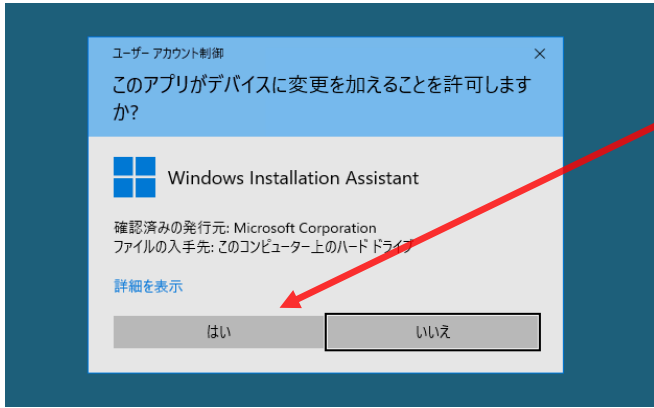
(B1-3)



[ファイルを開く] をクリックします。

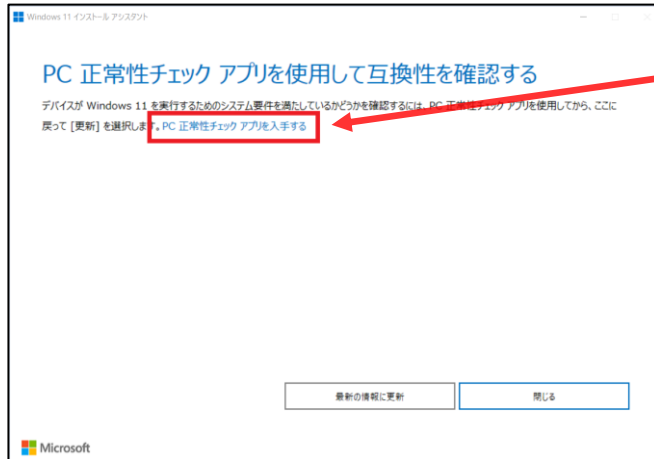
使用するブラウザによっては、[実行] [保存] [キャンセル] の選択を求められることがあります。この場合 [実行] を選択してください。また、Windows10 の場合は左下に表示されることがあります。

(B1-4)



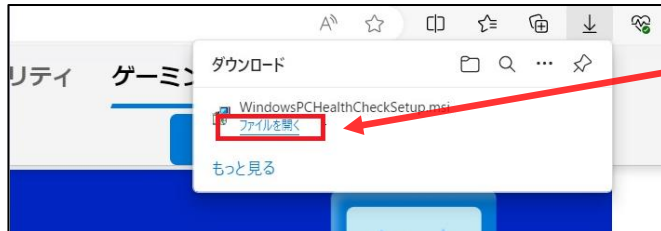
【はい】 をクリックします。

(B1-5)



【PC 正常性チェックアプリを入手する】 をクリックします。

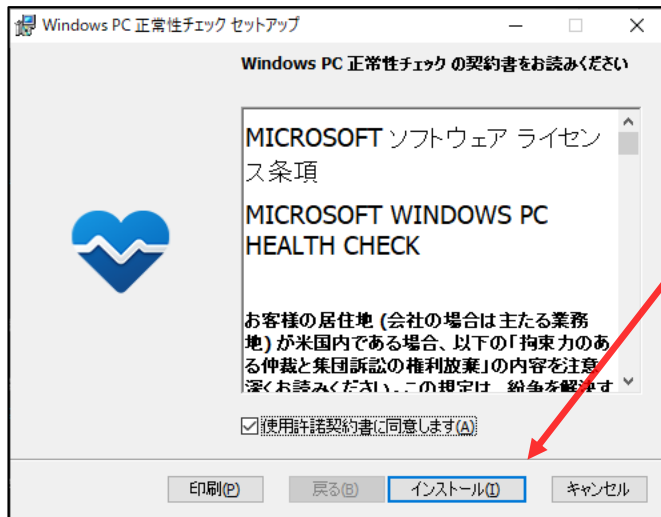
(B1-6)



【ファイルを開く】 をクリックします。

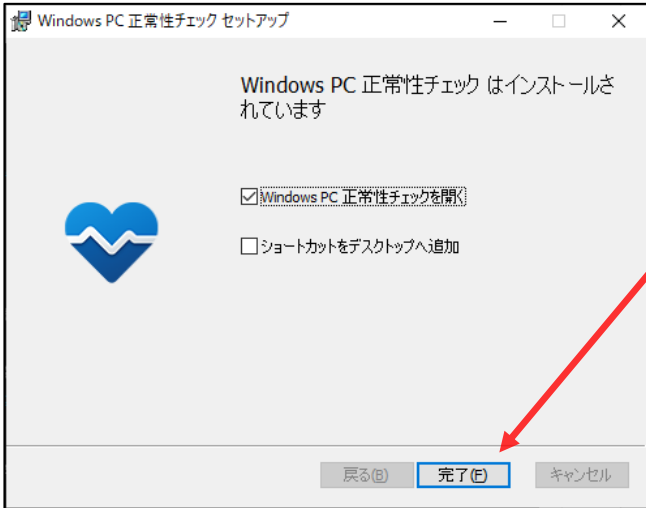
✎ 使用するブラウザによっては、【実行】 【保存】 【キャンセル】 の選択を求められることがあります。この場合 【実行】 を選択してください。また、Windows10の場合は左下に表示されることがあります。

(B1-7)



【使用許諾契約書に同意します】 にチェックを入れ、【インストール】 をクリックします。

(B1-8)



[完了] をクリックします。

(B1-9)

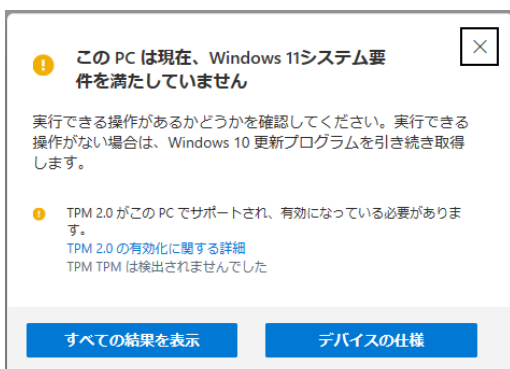


[今すぐチェック] をクリックします。

(B1-10)

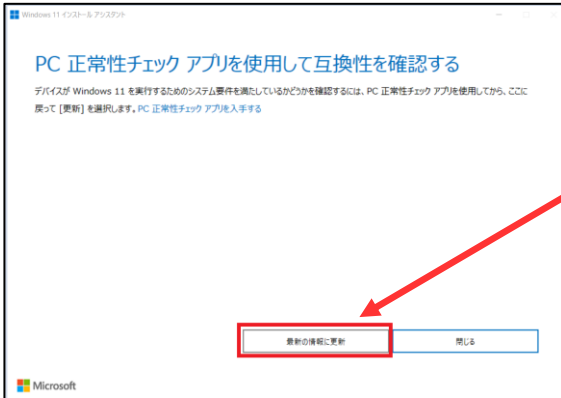


表示された内容により、Windows11 へのバージョンアップの可否を確認することができます。



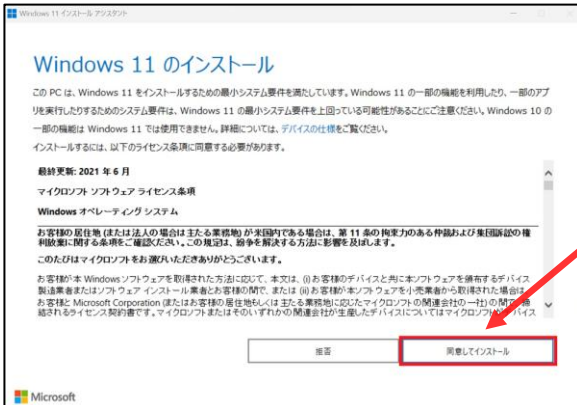
- [この PC は Windows11 の要件を満たしています] と表示された場合
→ Windows11 へのバージョンアップが可能です。
[×]で終了し、引き続き (B1-11) 以降の手順を実行してください。
- [この PC は現在、Windows11 システム要件を満たしていません] と表示された場合
→ Windows11 へバージョンアップすることができません。
[Windows11 を利用可能なパソコンの購入をご検討ください。](#)

(B1-11)



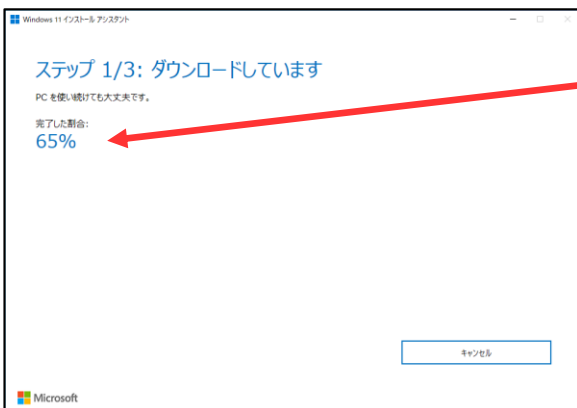
[最新の情報に更新] をクリックします。

(B1-12)



[同意してインストール] をクリックします。

(B1-13)



[完了した割合] が 100%になるまでお待ちください。

(B1-14)



[今すぐ再起動] をクリックし、パソコンを再起動します。

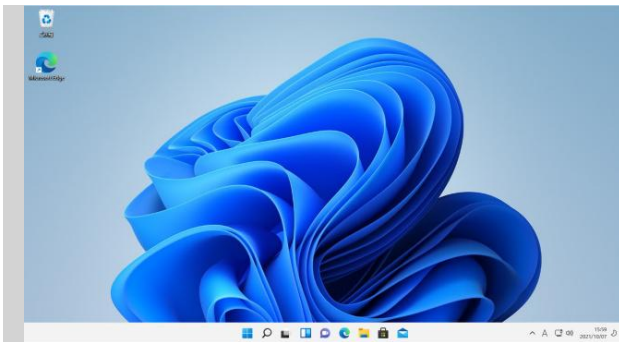
再起動が開始されるまで少し時間がかかります。

(B1-15)



再起動中に、Windows のバージョンアップが継続されます。しばらくそのままお待ちください。

(B1-16)



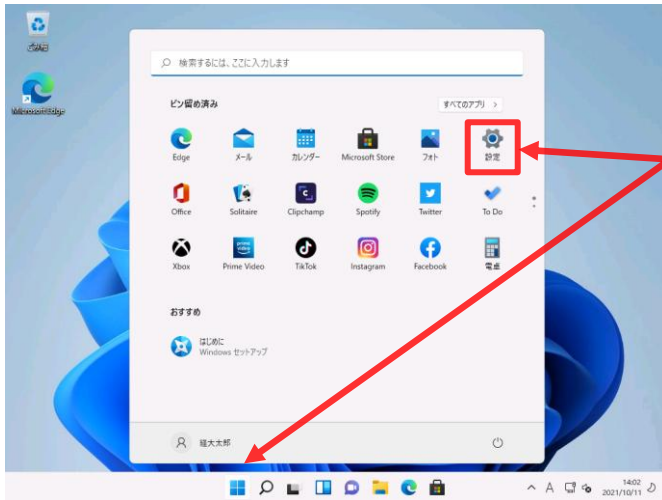
再起動完了後、パソコンにサインインすると、Windows11 へのバージョンアップが完了します。

➡ 「(B2)Windows11 の初期化 (リセット) P.25」へ進んでください。

(B2) Windows11 の初期化 (リセット)

すでに使用中のパソコンを必携パソコンとして大学で使用するには、Windows 11 の初期化(リセット)が必要です。なお、Windows11 の初期化(リセット)では、パソコン内のデータが完全に削除されますので、必要なデータがある場合には、作業前に必ずバックアップを行ってください。

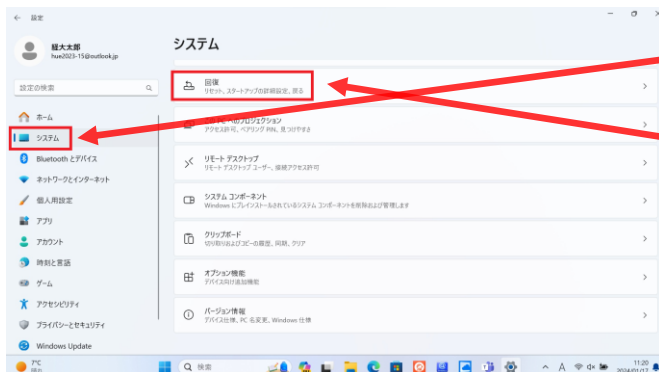
(B2-1)



① [Windows] をクリックします。

② [設定] をクリックします。

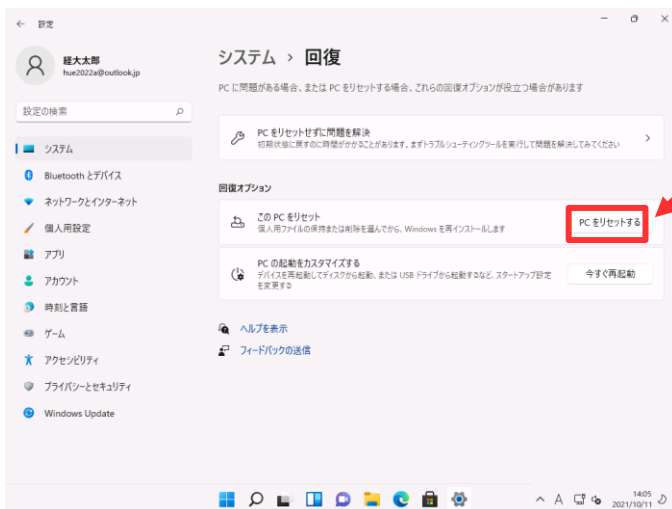
(B2-2)



① [システム] をクリックします。

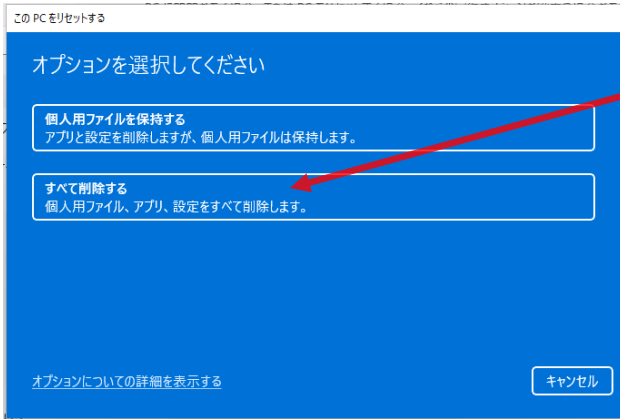
② [回復] をクリックします。

(B2-3)



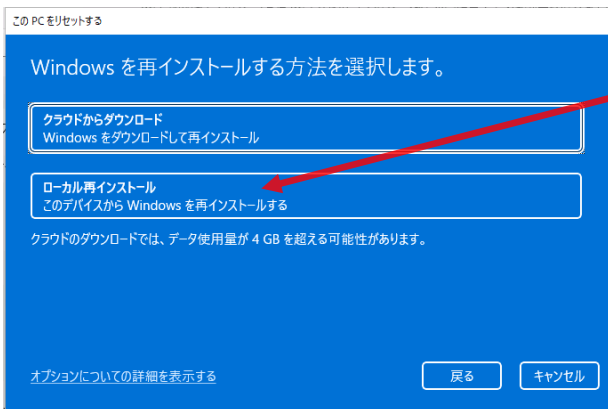
[PCをリセットする] をクリックします。

(B2-4)



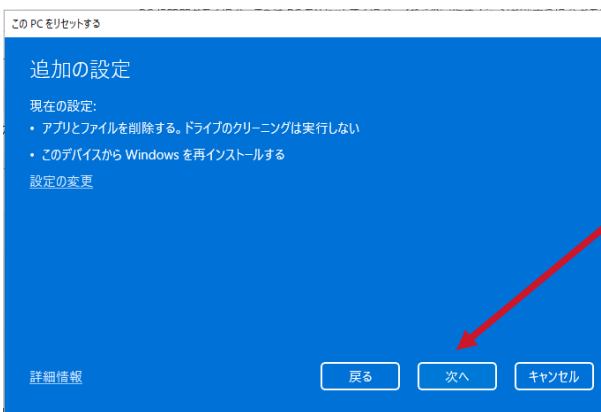
[すべて削除する] をクリックします。

(B2-5)



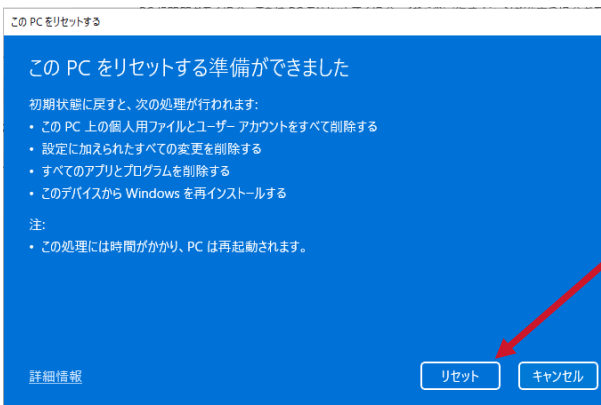
[ローカル再インストール] をクリックします。

(B2-6)



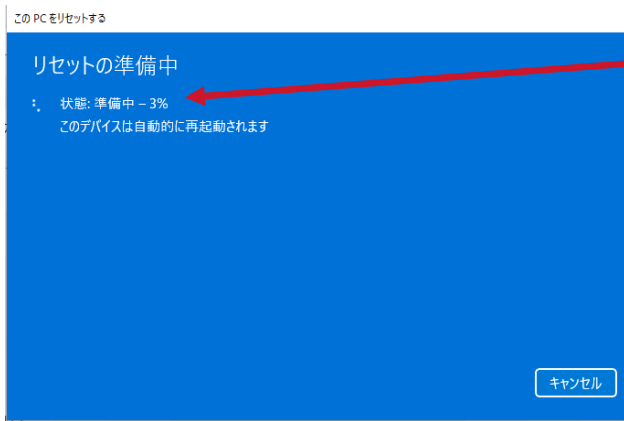
[次へ] をクリックします。

(B2-7)



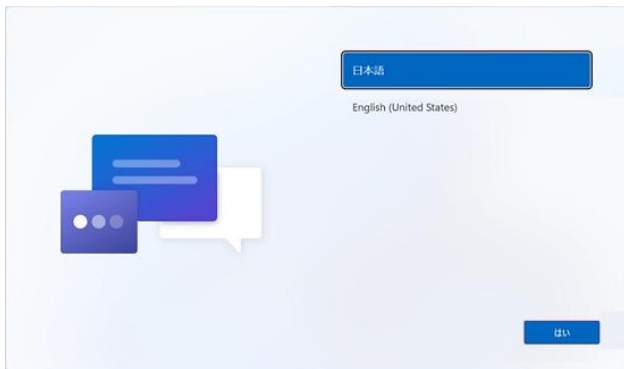
[リセット] をクリックします。

(B2-8)



初期化が開始されます。しばらくそのままお待ちください。
この間、何度か再起動が行われます。

(B2-9)



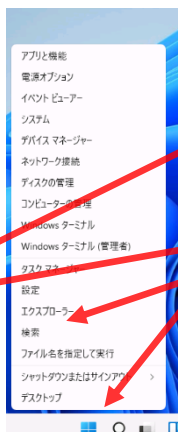
パソコンの再起動後は、初回起動時の設定が開始されます。

➡ 「(A1)Windows11 初回起動時の設定 P.4」へ進んでください。

(C1) Windows のバージョン確認

既に使用中のノートパソコンの Windows のバージョンが不明な場合、以下の手順でバージョンを確認してください。Windows のバージョンが [11] の場合にはそのままご利用いただけますが、[10] の場合には [11] へのバージョンアップが必要です。

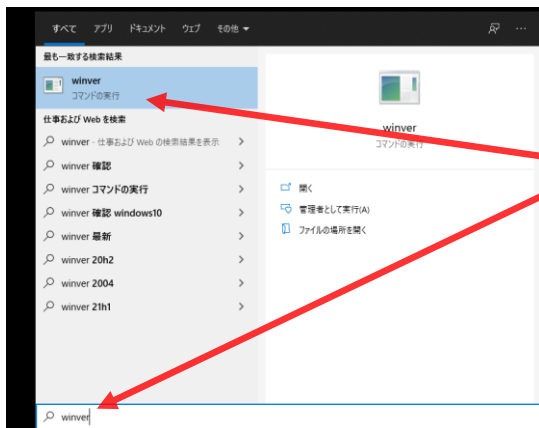
(C1-1)



① [Windows] を右クリックします。

② [検索] をクリックします。

(C1-2)



① 検索ボックスに [winver] と入力します。

② 検索結果から [winver] コマンドを実行します。

(C1-3)



表示された内容により、Windows のバージョンを確認します。

- [Windows11] の場合
 - ➡ Windows11 の初期化が必要です。
「(B2)Windows11 の初期化(リセット) P.25」へ進んでください。
- [Windows10] の場合
 - ➡ Windows11 へのバージョンアップが必要です。
まずは、Windows11 へのバージョンアップが可能かチェックを行います。
「(B1)Windows11 へのバージョンアップ P.20」へ進んでください。

お問合せ先

広島経済大学 情報センター TEL : 082-871-1663 (直通) 受付時間 : 平日 8:45~17:30
Mail : lan-sc@hue.ac.jp